

令和4年3月9日（水曜日）

盛岡二高 被災地支えた10年 カワトクキューブⅡで記録展

盛岡

盛岡二高（小原貴人校長、生徒578人）は10日まで、盛岡市菜園のカワトクキューブⅡで、東日本大震災の被災地ボランティアの記録を展示している。仮設住宅の住民との交流や植物の再生支援など、10年以上にわたる息の長い活動の様子を伝える。

2011年12月にボランティアを始めた同校。宮古市の仮設住宅でのサロンや大槌町の大槌川沿いに菜の花を植えるプ

ロジェクト、陸前高田市の高田松原の手入れなど、これまでの活動を約40枚の写真や記録誌で紹介している。

生徒が会場でプレゼンテーションする計画もあったが、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて断念した。代替として、生徒会が被災地に関わり続ける思いや学びの成果を20分の動画に収め、流している。

間もなく震災発生から11年。当時、小学校入学前だっ



盛岡二高の震災ボランティアの記録を伝える展示

た生徒会長の今野詩音さん（2年）は「内陸に住んでいると現地に行ける機会は少ないが、一緒に復興を進めていきたいとの思いで活動してき

た。展示を通じて多くの人に自分ができることを考えてほしい」と願う。

午前10時～午後7時（最終日は同3時まで）。

（岩手日報）

この記事は岩手日報社の許諾を得て転載しています。